

【ホームページへの掲載用の研究概要】

研究課題名 「子宮頸部上皮内腫瘍に関する生物学的指標に関する研究」

本研究は、ちば県民保健予防財団人を対象とする医学系研究に関する倫理審査委員会の承認を得て、理事長が許可をした研究であり、杏林大学を主任施設とする多施設共同研究です。

本研究は、当財団の婦人科専門外来を受診され、子宮頸部組織診検査および細胞診検査を受検された方のうち、本研究への協力にご同意をいただいた方を対象に、次のような研究を平成30年9月30日まで行う予定です。

子宮頸部上皮内腫瘍（CIN 異形成・扁平上皮がん）の発生には HPV が関与することが広く一般に知られていますが、上皮内腫瘍が進展するか否かの指標は明らかではありません。そのため HPV の存在だけでなく、そのウイルス量、physical status、塩基配列、CIN に関連する癌抑制遺伝子、癌遺伝子の発現を調べ、細胞診および組織診検査結果、コルポスコピー診の結果を踏まえ、CIN 進展の指標を明らかにすることを目的として研究を実施する。また 13 種類のハイリスク型 Human papillomavirus (HPV) (HR13) 陰性の CIN 症例を用いて HR を疑う HPV

(26, 30, 34, 66, 67, 69, 70, 73, 82, 85 型等) を検出し、ハイリスク型 HPV をあらためて再考することを目的として研究を実施する。

この研究により、医学の発展に役立つ新たな研究成果があった場合には、個人が誰であるか判らないようにした上で、研究成果が学会発表や学術誌、データベース上などで公に発表されることがあります。

本研究についてのお問い合わせ等につきましては、下記までご連絡ください。

研究責任者

公益財団法人ちば県民保健予防財団総合健診センター顧問 河西 十九三